

# DOKU-GAKU 掲示板

野球が終わってしまうとどうにも見るテレビがない、なんて嘆きながら、  
今期は連続ドラマをみつつも見ました。

「14才の母」「僕が歩く道」「Dr. コトー診療所」

14才で子供を生む事を選択した娘とその家族の物語「14才の母」が面白い。

「あなたには誰よりも幸せになってほしいの」と15才で父親にならねばならない息子に母親は言う。  
心は揺れながら彼は「誰よりも幸せになりたいんじゃなくて僕が幸せになりたいんだ」と答える。

「世の中ってね、人と違うことをする人間には信じられないくらい冷たいものなの」  
長い人生を生きてきた大人の言葉も、これから長い人生が待っている子供達の言葉も  
それぞれに重みがある。

井上由美子さんのオリジナル脚本。ふと考えたのだが、今小山内美奈子さんが闘病中と聞く。

「3年B組金八先生」の脚本は井上由美子さんが引き継いだらどうだろーか？

同じ価値観が流れているような気がする。もちろん小山内さんの復帰が一番だろうけど”^\_^”

「僕が歩く道」は韓国映画マラソンが下敷きにある（たぶん）。

このドラマが好きな人は映画もオススメ。映画は実話で、この親子は去年来日も果たしている。

「Dr. コトー診療所」は・・・あんまり好きくないですねー。

## Tomy jr.

### 「執筆者の素顔 由佳の巻」

(CACCO の巻と違って) いっぱい素顔が出てきて大満足です。これだけ美人なのに自分のことを「チビでブスでバカ」とは何ということ仰いますか！チビとバカは検証する術がありませんが、それじゃあ、世の中の大半の女性に向かって「お前はブスだ！」と訴えかけているようで、反感買いますよ、由佳さん。余計なお世話でしょうけど・・・。

### 「心理学シリーズ 人間嫌い<その3>」

タツノオトシゴさんに急にご指名を戴いたので、誠に僭越ではございますが・・・って結婚披露宴の挨拶か？

子供の遊びといえば、そうですね・・・カゴメもやりましたが、「はないちもんめ」もやったなあ。

単純で大きな子から小さい子、男も女もできたし「そうだしよう、そうしよう」なんて相談して「○○ちゃんが欲しい」

と自分の名前が出た時はドキドキしますが、自軍が負けて敵陣に奪われた時の心境はライバル球団にトレードされた野球選手の気分って、こんな感じかなあ、なんて。女の子と手をつなぐのもけっこうドキドキしたし・・・。

缶けりもよくやりました。隠れている時に鬼が近くにきたとき、ものすごくドキドキして

お尻がムズムズ、何故かう〇コをしたくなるような感じになりました。あれって何なのでしょうね？

馬飛びもよくやったなあ。けっこうな人数になると、飛ぶのも迫力があってドキドキしましたね。わざとある特定の奴の背中にドーン！と飛んで泣かせたりする奴もいましたね。こう並べてみると、子供の頃の遊びって、みんな「ドキドキ」することばかりだったんですね。大人になって「ドキドキ」することって随分減ったんですね。

### 日出彦の「歳時私記」

新シリーズですね。ワクワクします。特に今回の「お香」は、なるほどです。よく「五感を働かせて」などと言いますが、嗅覚については現代の日本人は忘れていている気がします。消臭するか、ありきたりな芳香剤で済ませている。これはイカンでしょう。日出彦さんのように、日常の中に「嗅覚を楽しませる工夫」をもっとすべきだと気付きました。

### 好奇心漫遊記「地球が 30cm の球だったら」

これは私もたいへん関心があることです。もっともっとムーブメントにしたいと思っています。だって、この情報は矢澤さんでなくとも誰でも入手できるし計算すれば分かることなのに、実感が異なっている。こういうことはやはり実感で直していくべきでしょう。小学校で「皆さんの校庭の真ん中に大玉転がしの大玉を置きます。その大玉を地球だとすると、太陽はどのくらい遠いと思いますか？あの商店街くらいだと思いますか？」ってやって学習させるべきでしょう。そう思いませんか？理科の図鑑にある絵に騙されてしまうんです。空気の層も同じです。人工衛星を「便宜的に」配置してしまう絵の距離感に騙されてしまうんです。これはマズイでしょう？

## うさお

### 「DG 的私の遺言」

遺言なんてうさおには合わないのに、こんなものはしないぞと思ったが、矢澤さんの遺言を読んで気持ちが変わった。そうか、ちょいと死ぬ前に周りに気を使えばよいんだな。(ああ、また勘違い！) うさお的スパイスを入れちゃいましたがこりゃあ颯爽かな。

### 「執筆者の素顔」

どうやらドクガクのメンバーで直接由佳ちゃんにお会いしているのは、うさおと Cacco だけらしい。(やった！)素顔(特に素っぴん)を拝顔させていただいている身としては、写真を見てあれっ！年代によってずいぶん色々表情が変化されているなあと言う印象。丸くなったり面長になったり。観音様がお好きなのは来世の極楽(補墮落伝説)を夢見る理想主義者と思っちゃいました。「くじらぼ」をご紹介しておきましたので、変身の際のご参考にしてください。

### 「祝中日観戦記」

この記事、当然 Cacco は地団太を踏んでいました。没だっ！、没っ！て思考が回っていたようですが、編集者として辛うじて踏みとどまったようです。

### 「歳時私記」

歳時私記？これって何でもありって事ですよ。初っ端から今までの総集編的雰囲気  
で始まって、ペダンティックな締め括りで、これからどんどん広がっていきそう。マ  
ンホールはとても参考になったけれど、そこは著作権無視のドクガクのこと、他人の収  
集物でもよいので、少し論を進めても良かったのでは？うさおは Tomy さんから貰った  
マンホールのデータだって発表しちゃおうと虎視眈々と狙っているよ。

### 「17文字の抒情詩」

えへへ、今回も風景を見ただけの句ですいません。あまり深く恋心など抱いたことが  
無いので、どうも今ひとつ情感ってものが表現できずに困っております。しちやいまし  
ょうか？今から。(えへへ……長谷川京子風に……どうもうさおは長谷京の顔が上手く識別  
出来ないでいるようです。CM を見て「これは誰だあ？」って言っては馬鹿にされてい  
ます。)景色は私に干渉してこないのが好きです。ってこれはタツオトさんの人間嫌いに  
論が進むのかな？

### 「人間嫌い編」

人間嫌いはうさおの本質です。ある臨界点を超えるまでは、他人に対して無干渉です  
が、超えてしまうと非常に攻撃的性格が表に出てきてビリー・ミリガンのようになっ  
ちやいます。失礼な表現がひとつありましたよ。子供の頃のうさおが「あの～その～」っ  
て言い訳組であったかのように書かれています。これっ！間違いです。大人になっ  
ても言い訳組です！！

### 「好奇心漫遊記」

神の目で地球を見たら、キットこう見えますよね。以前、地球環境を考えるパンフレ  
ットを作っているときに、地球上の海についてこんな風の表現をしました。薄っぺらい  
ぞおって。神様は逆に顕微鏡を用いて見ているのでしょうか？そういえば、あま  
り矢澤さんに神や仏様の表現が出てきませんが無心論者なんですか？矢澤さんは宇宙旅  
行に行けたら、きっと「あの宇宙に漂う光」を見れちゃう人だと思っているんですけど。

### 「韓国ドラマのススメ」

韓国映画を意外と見ている自分に気づき吃驚！外国映画は言葉が判らなくとも、吹き  
替えよりは生の音声が良いな。韓国ドラマも同じ言葉が繰り返し出てくると、覚えちや  
うよね。なあに訳なんって後で調べりゃ良いんだよ！うん、でも最近の字幕訳は少し実  
社会に即しすぎていて、「ちょ～、意味わかねえ！」って、わかんねえ。

### 「韓国街うろつき記」

トミさん(だんだん省略してきている)お得意の食べ物のアップ写真だ。もうちょっと  
アップのほうが良いな。鍋が美味しそうに見えるね。風味、食感をもっと説明して欲し  
かった。多分見せたかったのは、イ・ヨンエとのツー・ショット。そうは思ったんです  
が、やはりイ・ヨンエの方が風格がありますね。やはり宮廷女官だからか？

**「テレカコレクション」**

銀行のテレカは、販促品に他ならないだろう。しかし、うさおは銀行からテレカを買ったことが無い。なんでえ？このテレカを見て思い出したのだが、JAの「ちょきんぎょ」のぬいぐるみがおばさんの家にあった。何かもによもによする素材でずっと触っていた代物だった。何となく欲しかったぞ。

**「ビーズな毎日」**

やはり圧巻は浜省の顔のビーズ編み奮闘記だ。3人の試行錯誤的なアプローチが面白い。浜省ってどんな人？皆さんがイメージするとおりの人なの？あんな顔？浜省のこと余り知らないけど、ここに載せられた浜省は別人だろう。寺尾聰みたいなのもいたぞ！

**「ミスチルばがぼんど」**

ん…ちょっとね…胸元のネックレスが男として嫌らしい。また目線がホストクラブっぽいジャンねえ。赤と青のビーズネックレスはもしや「ギリギリ」の手作りか？結構そうかもしれないね。Caccoがギリギリするぞ。(ギリギリは桜井和寿の奥さんです)

TICAさんより次号企画のお知らせです。

**企画『2006年総決算』と『2007年大予想』**

次回企画は、年頭に予想していただいた2006年の答え合わせと、2007年の予想をお願いします。2006年の予想を忘れている方も多いと思うので、追って各自に送ります。

新年第一弾企画、大勢で賑やかにやりましょう！

今年も残すところあとわずか。みなさんよいお年をお迎えくださいね。

ではDGの留まることを知らない発展を祈って。

2006年12月25日発行

発行人 読書を楽しむ会

印刷・製本

c's 工房 &

M's factory